

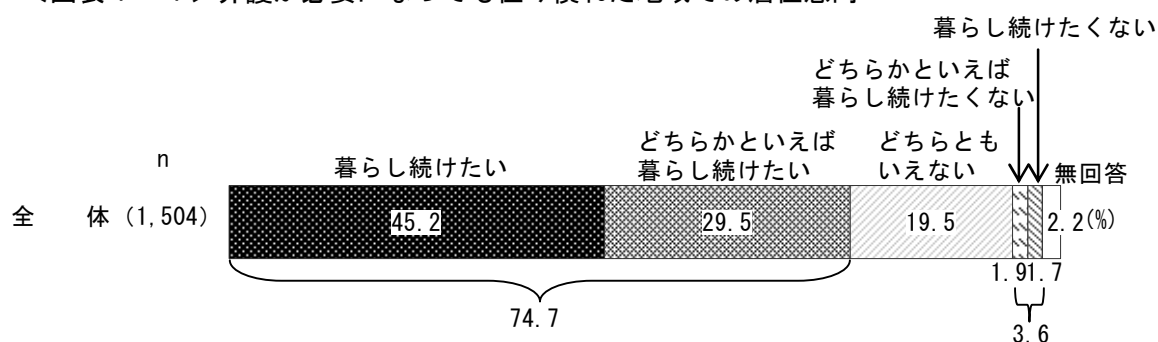
1 高齢者が地域で暮らし続けるための施策について

(1) 介護が必要になっても住み慣れた地域での居住意向

◇『暮らし続けたい』が7割台半ば

問1 あなたは、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいですか。(○は1つ)

<図表1-1>介護が必要になっても住み慣れた地域での居住意向



介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けたいかを聞いたところ、「暮らし続けたい」(45.2%)が4割台半ば、「どちらかといえば暮らし続けたい」(29.5%)を合わせた『暮らし続けたい』(74.7%)は7割台半ばである。一方、「どちらかといえば暮らし続けたくない」(1.9%)、「暮らし続けたくない」(1.7%)を合わせた『暮らし続けたくない』は3.6%となっている。(図表1-1)

【地域別】

地域別にみると、『暮らし続けたい』は“山武地域”(84.6%)で8割台半ばと最も高く、“海匠地域”(80.6%)で8割と高くなっている。(図表1-2)

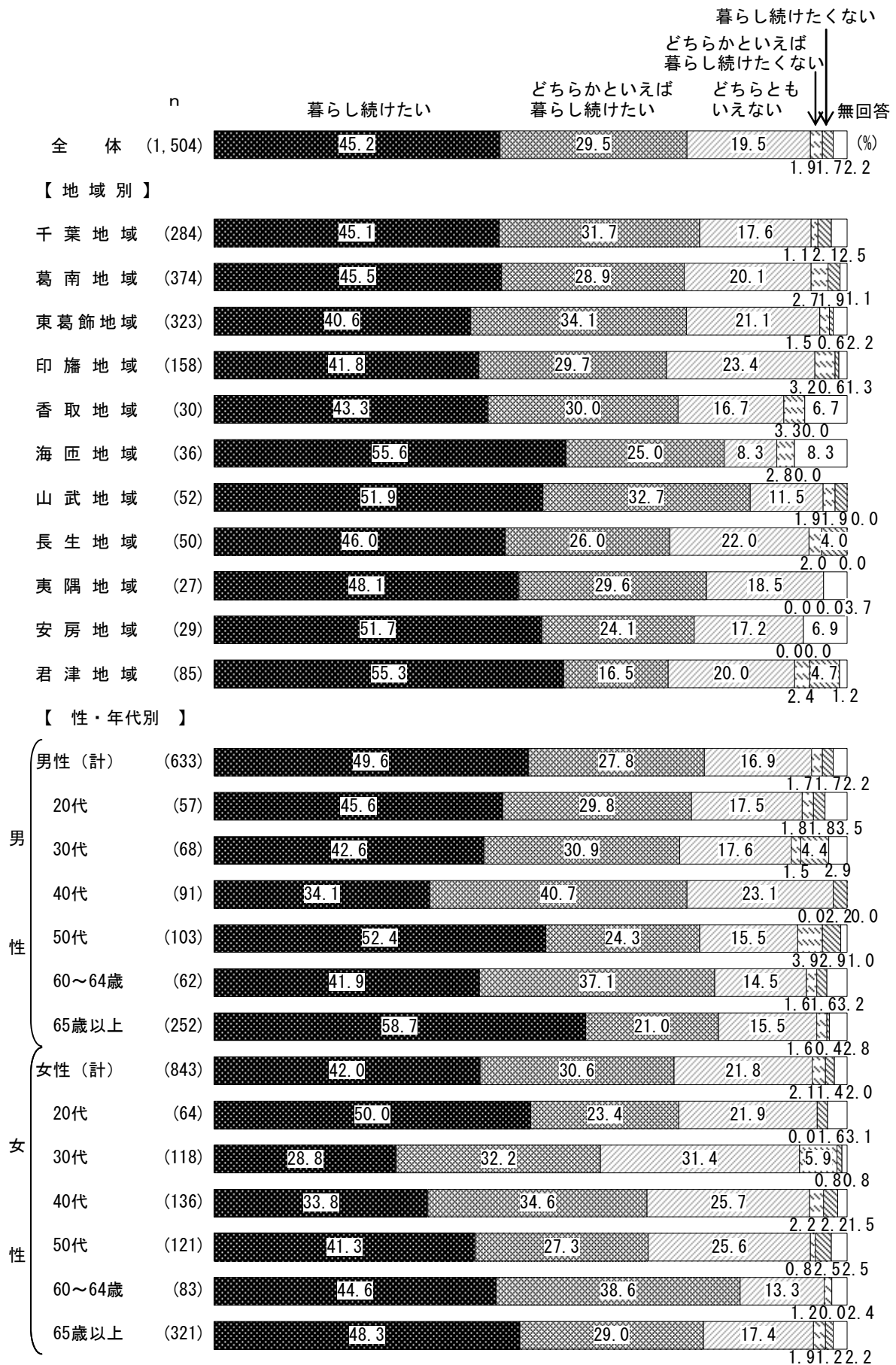
【性・年代別】

性別でみると、『暮らし続けたい』は男性(77.4%)の方が約8割と高い。

性・年代別にみると、『暮らし続けたい』は女性の60～64歳(83.1%)で8割台半ばと最も高く、男性の65歳以上(79.8%)、男性の60～64歳(79.0%)で約8割と他の年代に比べて高くなっている。

(図表1-2)

<図表 1-2> 介護が必要になっても住み慣れた地域での居住意向／地域別、性・年代別

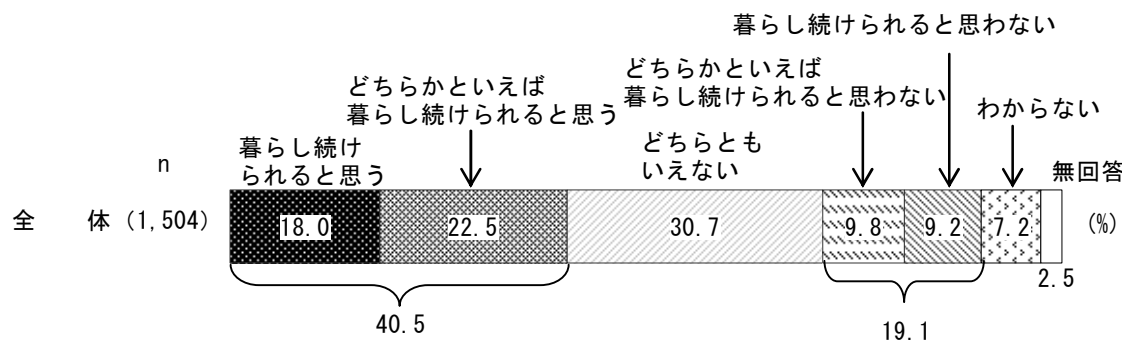


(2) 介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか

◇『暮らし続けられると思う』が4割

問2 あなたは、介護が必要になっても現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思いますか。(○は1つ)

<図表1-3>介護が必要になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられるか



介護が必要になっても現在住んでいる自宅や地域で暮らし続けられるかを聞いたところ、「暮らし続けられると思う」(18.0%)が約2割、「どちらかと言えば暮らし続けられると思う」(22.5%)を合わせた『暮らし続けられると思う』(40.5%)は4割となっている。一方、「どちらかといえば暮らし続けられると思わない」(9.8%)と「暮らし続けられると思わない」(9.2%)を合わせた『暮らし続けられると思わない』(19.1%)は約2割となっている。(図表1-3)

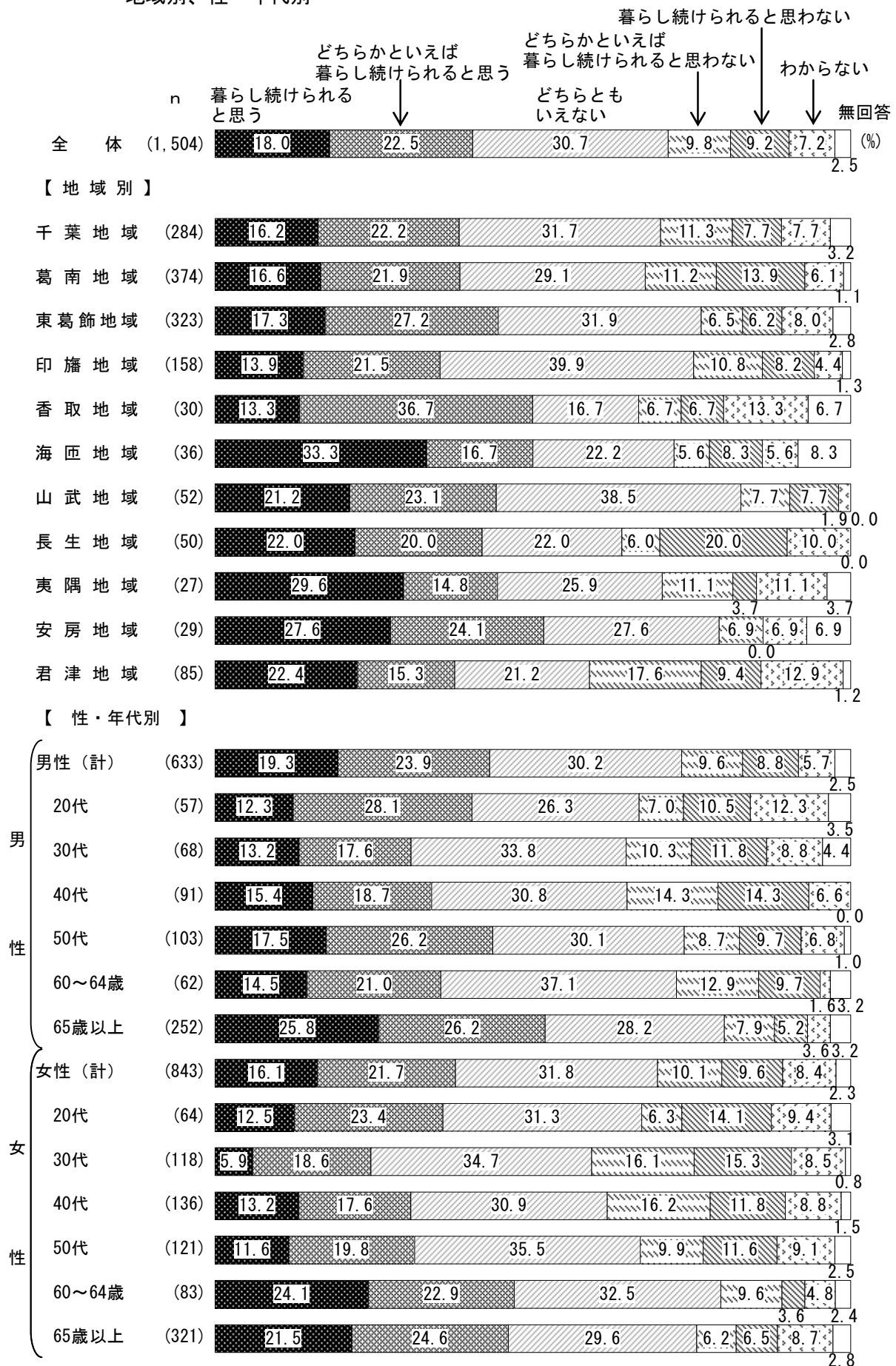
【地域別】

地域別にみると、『暮らし続けられると思う』は“安房地域”(51.7%)、“海匝地域”、“香取地域”(共に50.0%)で5割以上と他の地域に比べて高くなっている。(図表1-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『暮らし続けられると思う』は男性の65歳以上(52.0%)で5割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。一方、『暮らし続けられると思わない』は女性の30代(31.4%)で3割を超えて高く、男性の40代(28.6%)、女性の40代(27.9%)で約3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1-4)

<図表1-4>介護が必要になっても、現在お住まいの自宅や地域で暮らし続けられると思うか／地域別、性・年代別

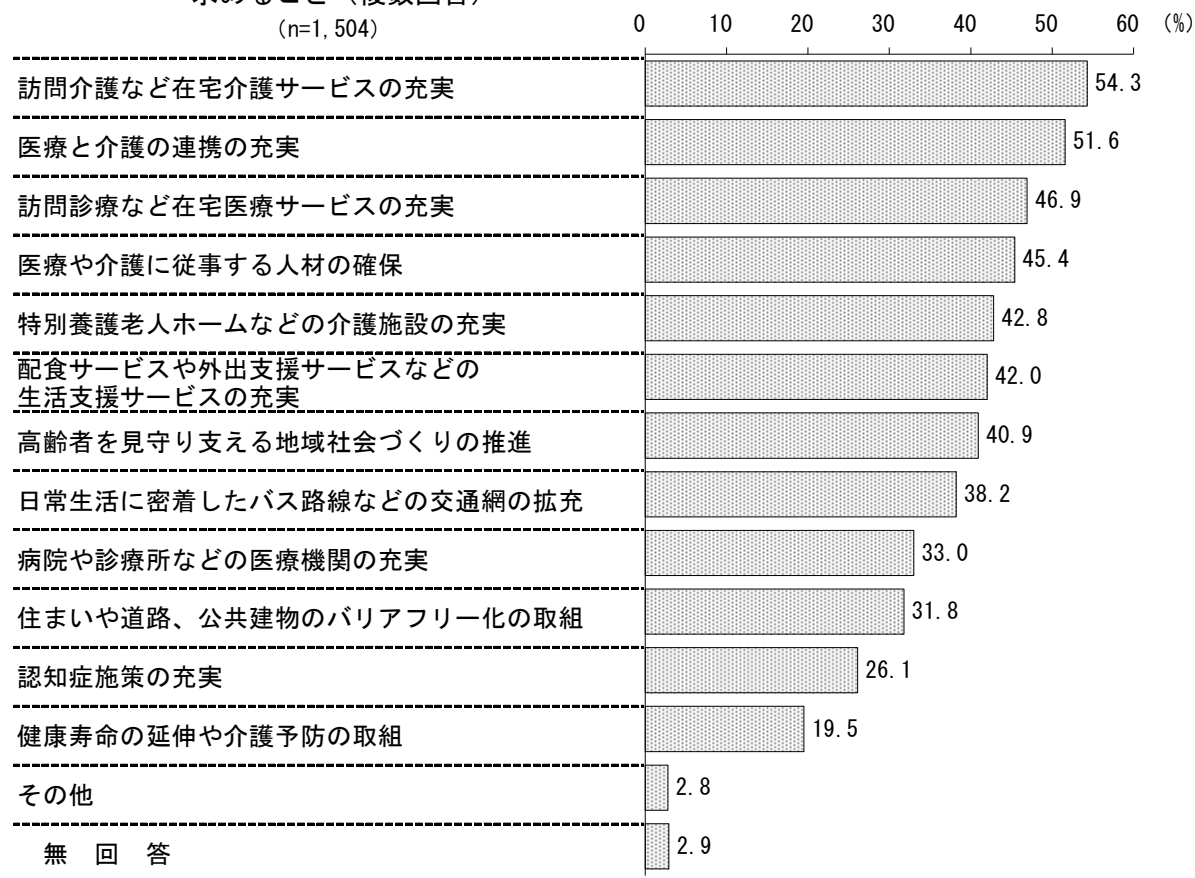


(3) 地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めること

◇「訪問介護など在宅介護サービスの充実」が5割台半ばで最も高い

問3 あなたが、地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めることは何ですか。(〇はいくつでも)

〈図表1-5〉地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めること(複数回答)



地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、千葉県に求めることは「訪問介護など在宅介護サービスの充実」(54.3%)が5割台半ばで最も高く、以下、「医療と介護の連携の充実」(51.6%)、「訪問診療など在宅医療サービスの充実」(46.9%)、「医療や介護に従事する人材の確保」(45.4%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設の充実」(42.8%)、「配食サービスや外出支援サービスなどの生活支援サービスの充実」(42.0%)、「高齢者を見守り支える地域社会づくりの推進」(40.9%)が続く。(図表1-5)

【地域別】

地域別にみると、「配食サービスや外出支援サービスなどの生活支援サービスの充実」は“夷隅地域”（66.7%）で6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表1－6）

【性・年代別】

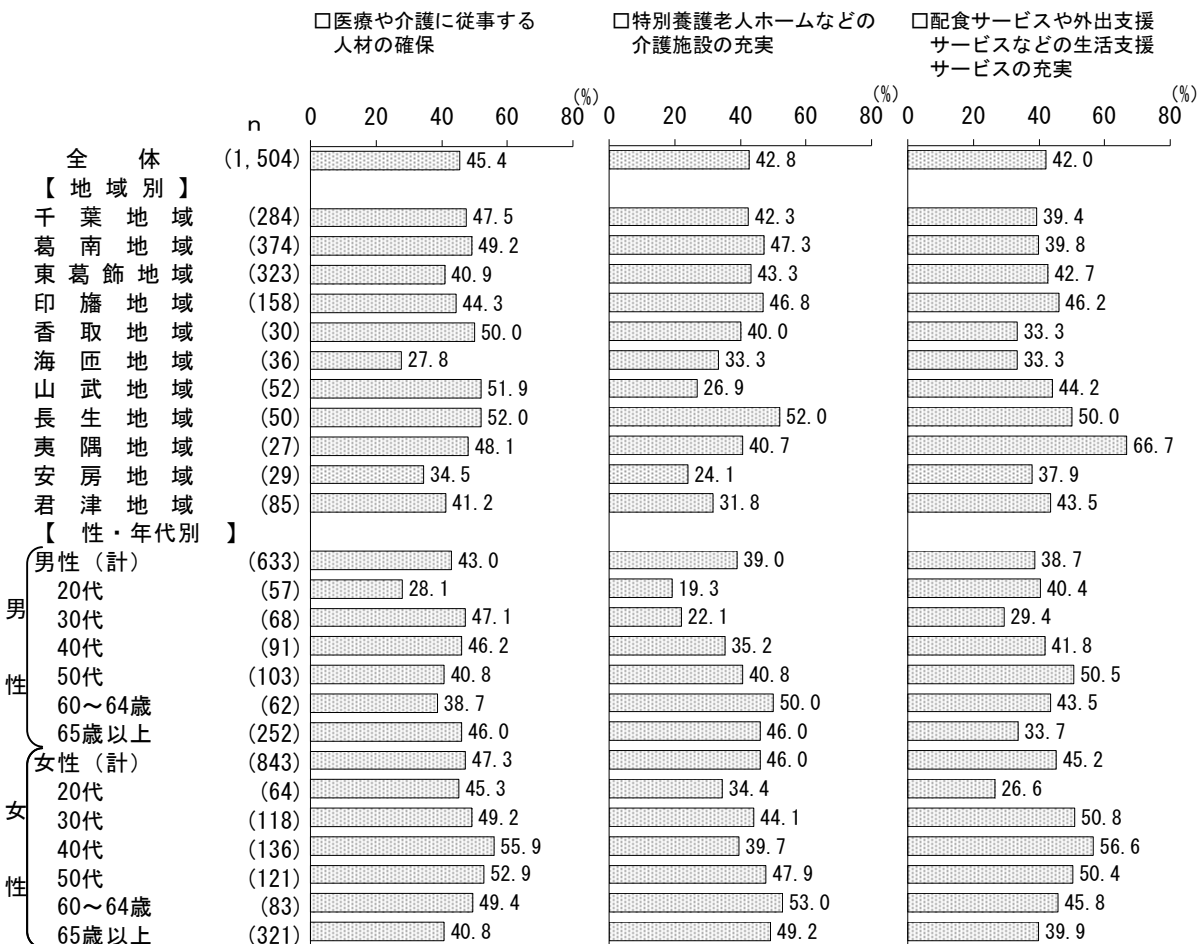
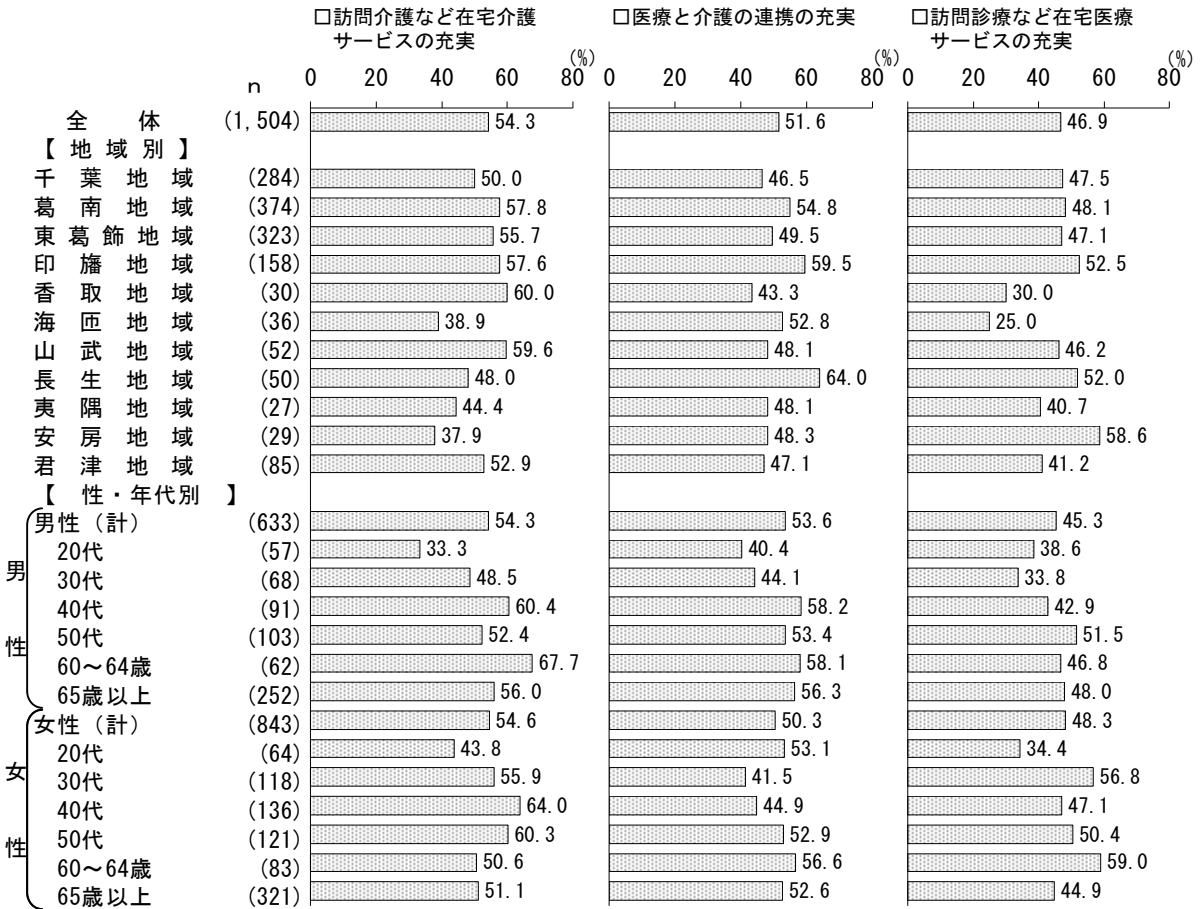
性別でみると、「特別養護老人ホームなどの介護施設の充実」（46.0%）、「配食サービスや外出支援サービスなどの生活支援サービスの充実」（45.2%）は女性の方が4割台半ばと高い。

性・年代別にみると、「訪問介護など在宅介護サービスの充実」は男性の60～64歳（67.7%）で約7割、女性の40代（64.0%）で6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

また、「訪問診療など在宅医療サービスの充実」は、女性の60～64歳（59.0%）で約6割、女性の30代（56.8%）で5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。

一方、「医療や介護に従事する人材の確保」は男性の20代（28.1%）で約3割、「特別養護老人ホームなどの介護施設の充実」は男性の20代（19.3%）で約2割と低い。（図表1－6）

＜図表 1-6＞地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



このほかに、「高齢者が地域で暮らし続けるための施策について」やここまでの質問（問1～問3）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、366人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「高齢者が地域で暮らし続けるための施策について」の自由回答（抜粋）

○若い人ほど、高齢者、介護など興味がないと思うので、興味や理解しやすい広報や情報を発信してほしい。（男性、30代、葛南地域）

○暮らしやすい施策の為に、また、サービスと言って、我々県民の負担が増加しては困る。こども110番や見守り隊みたいな民生委員よりも気軽なつながりがあるといいと思う。
（女性、60～64歳、千葉地域）

○私たちが高齢者になる頃は、施設不足になると聞いている。もっと施設や人材を増やしてほしい。また働きやすい職場にして、人材を確保してほしい。（女性、50代、葛南地域）

○バリアフリー、医療、介護等について、大きな改善がみられない。一層充実されることを期待しています。（男性、60～64歳、千葉地域）

○介護する側も重要と思われれます。介護する側の働きやすい環境作りも取り組むべきでは。勤務体制、賃金等。（女性、40代、君津地域）

○①健康を維持する、食生活、運動などの生活習慣を頻繁に啓発する。具体的なデータと共に。
②高齢者同士や、子供達、地域の人達と交流できる機会を増やす。心身の健康に役立つと思われる。
③自然が多い運動（ウォーキング等）ができる場所と、市民の為の農園（農作業で身体を動かす）をつくると、心にも体にも良い影響を与えられる。（男性、20代、印旛地域）

○高齢者が自宅にひきこもらない様に、無料で集まって話せる場所を作って欲しい。
（女性、20代、東葛飾地域）

○最近、街中、スーパー等がなく、老人等が日常の買物に非常に困っている。又、路線バス等が無く大変な為、行政でもう少しその点に付いて考えてもらいたい。（男性、65歳以上、君津地域）

○新聞配達員や郵便局員など、毎日地域を巡回している方は、対高齢者においてはポストへの投函ではなく、手渡しをして様子を見てもらう。（女性、30代、千葉地域）

○元気な高齢者などのボランティアの小規模の組織を多数作り、要介護の人たちの手助けをし、そのボランティアの精神をねづかせる様に、行政または地域リーダーを育てる様な状況を作ったらと思う。（男性、65歳以上、香取地域）